

金囊 (きんのう)

福を司る物が入った袋で、「福袋」とも言い、積み重ねた苦袋も福と成すという意味が込められています。

分銅 (ふんどう)

秤で使われる重りです。金銀は重量で取引されるため、分銅をたくさん使う＝金銀がたくさんある、という意味になります。

犀角の杯

(さいかくのはい)

動物のサイの角です。古来より削って使えば薬になるとされています。また、勝利を表しています。

七宝 (しっぽう)

七宝とは「金、銀、るり瑠璃 (ラピスラズリ)、はり玻璃 (水晶)、さんご珊瑚、めのう、真珠」の七つの宝を表した図で、丸い形は「円満」を意味しています。

松竹梅

(しょうちくばい)

松、竹、梅の三点を組み合わせ合わせたもので、慶事や吉祥のシンボルとされています。

打ち出の小槌

(うちでのこづち)

大黒様が抱えている持ち物で、願い事をしながら振ると、願いが叶うと言われています。

隠れ笠 (かくれがさ)

身につけると自身の姿を隠しどこからも見えなくなると言われている宝物です。日を守ることから「身を守る」という意味を持ちます。

宝珠 (ほうじゆ)

炎を象り、龍の持ち物とも言われていますが、元々は法具です。思いのままに財宝を出すことができるなど、夢を叶える宝物と言われています。

丁子 (ちょうじ)

大陸から渡来した香辛料のひとつで、薬や染料、香料、髪付け油を作る原料とされています。渡来当時は大変貴重な物だったため、宝のひとつに数えられます。

宝錠 (ほうやく)

「錠」とは「鍵」のことです。やく蔵をたくさん持てるようにとの願いを込めています。

隠れ蓑 (かくれみの)

元々は天狗の持つ宝物だと言われています。「秀でた才能を得る」また「災厄から身を隠して守ってくれる」という意味を持ちます。

巻物 (まきもの)

「書物」のことです。転じて「知恵を授かる」という意味を持ちます。